

事務連絡
平成29年5月19日

農林水産祭における部門の見直しについて

農 林 水 産 省
(公財)日本農林漁業振興会

平素より、農林水産省と公益財団法人日本農林漁業振興会の共催で行っている農林水産祭につきましては、多大な御理解・御協力を賜り感謝申し上げます。

これまで、「農産」「園芸」「畜産」「蚕糸・地域特産」「林産」「水産」「むらづくり」としていた農林水産祭の各部門について、昨今の農林水産業を取り巻く環境の変化や、農林水産省における施策の展開方向を踏まえ、より実態に即した表彰となるよう、平成29年8月の平成29年度（第56回）中央審査委員会審査より以下のとおり変更します。

1. 昨今多様化する農林水産業の経営状況を踏まえ、複合的な栽培や、生産活動を行いつつ加工・販売などを行ういわゆる「6次産業化」等、従来の部門の枠に収まりきれない様々な農林水産業の経営への取組が顕著な出品財を表彰するため、「多角化経営部門」を新設します。
2. 上記の多角化経営部門の設立に伴い、部門間の出品財を調整するため、農産部門と蚕糸・地域特産部門を合併し、「農産・蚕糸部門」として審査を行います。

このことにより、今後の部門構成は「農産・蚕糸」、「園芸」、「畜産」、「林産」、「水産」、「多角化経営」及び「むらづくり」となります。

なお、「多角化経営部門」への推薦方法や農産及び蚕糸・地域特産部門の取扱いなど、今般の改正に関する詳しい内容を別添資料にお示ししておりますので、御一読をお願いいたします。

関係者の皆様には御面倒をおかけしますが、何とぞ御理解を賜りますようお願い申し上げます。

本件に関するお問い合わせ
農林水産省大臣官房文書課（顕彰普及）野間口、齋藤
電話：03-3502-8040
電子メール：satoshi_nomaguchi120@maff.go.jp
noboru_saito670@maff.go.jp
(公財)日本農林漁業振興会 山田
電話：03-6441-0791
電子メール：jigyouno@affskk.jp

多角化経営部門への推薦について

対象となる出品財

平成29年度(第56回)農林水産祭に参加している

【部門】農産、園芸、畜産、蚕糸・地域特産、林産及び水産の6部門(改正前の部門で表記しています)

【種目】経営、女性の活躍(産物及び技術・ほ場の出品財は参加できません)

部門の枠にとらわれない農業経営等の取組

【複合的な栽培の例】



稲作(農産)・野菜(園芸)・養豚(畜産)へ横断的に取り組み、効率的な経営や地域雇用、新規就農者の受け入れなどを実践

【加工・販売への取組例】



酪農を営む農家が周囲の農家と連携し、アイスクリームやケーキの加工・販売などを通じて交流人口の増加にも貢献

中央審査委員会

農産・蚕糸、園芸、畜産、林産及び水産各分科会

多角化経営分科会
(新設部門)

天皇杯等
三賞決定・表彰



左記のような取組については、多角化経営部門への推薦が可能になります。

既に農産・蚕糸部門や園芸部門等として表彰済である出品財についても、左記のような取組が顕著であると各行事主催者が判断された場合は、部門を変更することができます。

なお、どちらか片方の部門での審査となります。

農産・蚕糸部門について

対象となる出品財

平成29年度(第56回)農林水産祭に参加している

【部門】農産及び蚕糸・地域特産の2部門(改正前の部門で表記しています)

【種目】産物、技術・ほ場、経営及び女性の活躍(すべての種目が対象です)

これまで

【農産部門】

米、麦類、雑穀、豆類



【蚕糸・地域特産部門】



まゆ、生糸、桑苗、地域特産物(茶、こんにやく等の工芸作物、いも類、その他の地域特産物)

平成29年度(第56回)
中央審査委員会

農産・蚕糸分科会
(新設部門)

これまで「農産」「蚕糸・地域特産」としていた部門について、「農産・蚕糸」部門と一括りにして審査を行います。

新部門への変更については、農林水産祭事務局(農林水産省及び(公財)日本農林漁業振興会)で行いますので、各行事主催者において手続等は必要ありません。

天皇杯等
三賞決定・表彰

